

理科 8学年 評価計画

内容のまとまり・単元／観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生物 1章 生物の体をつくるもの	目標		
	生物の組織などの観察を行い、生物の体が細胞からできていること、および植物と動物の細胞のつくりの特徴を見だし理解させる。	生物の身体を構成する細胞に対する興味・関心を持ち、動物と植物と細胞の違いに注目してはたらきの違いを考える力を身につけること。	生物の細胞に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	評価規準		
	生物の体のつくりとはたらきとの関係に着目しながら、生物と細胞のつくりの特徴についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	生物と細胞について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物の体のつくりとはたらきについての規則性や関係性を見だして表現しているなど、科学的に探究している。	生物と細胞に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	評価方法		
	行動観察、発言、発表、ワークシート、小テスト・定期テストなど	発言、発表、ワークシート、小テスト・定期テストなど	行動観察、発表、自己評価、ワークシート、ノート、小テストなど
2章 植物の体のつくりとはたらき	目標		
	植物の葉や茎、根のつくりについての観察を行い、それらのつくりと、光合成、呼吸、蒸散のはたらきに関する実験の結果とを関連づけて理解させる。	植物の体のつくりに対する興味・関心を持ち、それらはたらきについて考える力を身につけること。	植物の体のつくりに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	評価規準		
	植物の体のつくりとはたらきとの関係に着目しながら、葉・茎・根のつくりとはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	植物の体のつくりとはたらきについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、植物の体のつくりとはたらきについての規則性や関係性を見だして表現しているなど、科学的に探究している。	植物の体のつくりとはたらきに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	評価方法		
	行動観察、発言、発表、ワークシート、小テスト・定期テストなど	発言、発表、ワークシート、小テスト・定期テストなど	行動観察、発表、自己評価、ワークシート、ノート、小テストなど

3 章 動物の体のつくりとはたらき	目標		
	消化や呼吸，血液の循環についての観察・実験を行い，動物の体が必要な物質を取り入れ運搬しているしくみを観察・実験の結果と関連づけて理解させる。また，不要となった物質を排出するしくみがあることを理解させる。	動物の体のつくりやはたらきに対する興味・関心を持ち，どのような物質が生命活動にかかわっているかを考える力を身につけること。	動物の体のつくりに関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
	評価規準		
	動物の体のつくりとはたらきとの関係に着目しながら，生命を維持するはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	動物の体のつくりとはたらきのうち，生命を維持するはたらきについて，見通しをもって解決する方法を立案して観察，実験などを行い，その結果を分析して解釈し，動物の体のつくりとはたらきについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど，科学的に探究している。	動物の体のつくりとはたらきのうち，生命を維持するはたらきに関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
	評価方法		
	行動観察，発言，発表，ワークシート，小テスト・定期テストなど	発言，発表，ワークシート，小テスト・定期テストなど	行動観察，発表，自己評価，ワークシート，ノート，小テストなど
4 章 動物の行動のしくみ	目標		
	動物が外界の刺激に適切に反応している様子の観察を行い，そのしくみを感覚器官，神経および運動器官のつくりと関連づけて理解させる。	動物が外界の刺激に対して反応することに対する興味・関心を持ち，どのような刺激をどのような経路で受け取っているかを考える力を身につけること。	動物が外界からの刺激に対して反応することに関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
	評価規準		
	動物の体のつくりとはたらきとの関係に着目しながら，刺激と反応についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	動物の体のつくりとはたらきのうち，刺激と反応について，見通しをもって解決する方法を立案して観察，実験などを行い，その結果を分析して解釈し，動物の体のつくりとはたらきについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど，科学的に探究している。	動物の体のつくりとはたらきのうち，刺激と反応に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
	評価方法		
	行動観察，発言，発表，ワークシート，小テスト・定期テストなど	発言，発表，ワークシート，小テスト・定期テストなど	行動観察，発表，自己評価，ワークシート，ノート，小テストなど

地学 1章 地球をとり巻く大気のようにす	目標		
	地表にあるもののすべてに大気圧がはたらいていることを理解させ、身のまわりの大気存在を認識させる。また、身のまわりの大気の状態を継続的に観測させて、気象要素の変化と天気の変化の関係を見いださせる。	大気がかかわる現象に対する興味・関心を持ち、日常生活で起こる自然現象とどのようにかかわっているかを考える力を身につけること。	大気がかかわる現象に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	評価規準		
	気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象要素、気象観測についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	気象観測について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化についての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	気象観測に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	評価方法		
	行動観察、発言、発表、ワークシート、小テスト・定期テストなど	発言、発表、ワークシート、小テスト・定期テストなど	行動観察、発表、自己評価、ワークシート、ノート、小テストなど
2章 大気中の水の変化	目標		
	霧や雲のでき方を、空気中の水の変化と関連づけて理解させる。また、地球上の水がさまざまな状態で存在し、霧、雲、雨や雪はその循環の一部であることを認識させる。	霧や雲のでき方に対する興味・関心を持ち、水の循環とどのようにかかわっているかを考える力を身につけること。	霧や雲のでき方に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	評価規準		
	気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、霧や雲の発生についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	霧や雲の発生について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、霧や雲の発生についての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	霧や雲の発生に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	評価方法		
	行動観察、発言、発表、ワークシート、小テスト・定期テストなど	発言、発表、ワークシート、小テスト・定期テストなど	行動観察、発表、自己評価、ワークシート、ノート、小テストなど

3 章 天気の変化と大気の動き	目標		
	気圧配置によって、大気の動きが生じることを理解させる。また、日本付近の高気圧や低気圧の移動と、それに伴う天気の変化を、地球規模の大気の動きの一部として捉えさせる。	気圧配置による天気の変化に対する興味・関心を持ち、気圧の変化に伴う天気や気温、湿度の変化などと関連付けて考える力を身につけること。	気圧配置による天気の変化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	評価規準		
	気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、前線の通過と天気の変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	前線の通過と天気の変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、前線の通過と天気の変化についての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	前線の通過と天気の変化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	評価方法		
	行動観察、発言、発表、ワークシート、小テスト・定期テストなど	発言、発表、ワークシート、小テスト・定期テストなど	行動観察、発表、自己評価、ワークシート、ノート、小テストなど
4章 大気の動きと日本の四季	目標		
	大陸と海洋の温度差によって生じる大気の動きが、日本の気象に影響を与えることを理解させる。さらに、日本付近で盛衰する3つの気団と関連づけながら、日本の四季の天気の特徴とそれが生じるしくみを理解させる。	日本の四季による天気の変化に対する興味・関心を持ち、日本近辺の気団の盛衰と動きを関連付けて考える力を身につけること。	四季の天気の変化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	評価規準		
	気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、日本の天気の特徴、大気の動きと海洋の影響、自然の恵みと気象災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	日本の気象、自然の恵みと気象災害について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化や日本の気象についての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	日本の気象、自然の恵みと気象災害に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	評価方法		
	行動観察、発言、発表、ワークシート、小テスト・定期テストなど	発言、発表、ワークシート、小テスト・定期テストなど	行動観察、発表、自己評価、ワークシートなど

化学 1 章 物質の成り立ち	目標		
	物質を分解する実験を行い、分解して生成した物質からもとの物質の成分が推定できることを見いださせる。また、物質は原子や分子からできていることを認識させる。	物質の成り立ちに対する興味・関心をもち、物質を構成する粒子について粒子モデルなどと関連付けて考える力を身につけること。	物質の成り立ちに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	評価規準		
	化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、物質の分解や原子・分子についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	物質の成り立ちについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	物質の成り立ちに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	評価方法		
	行動観察、発言、発表、ワークシート、小テスト・定期テストなど	発言、発表、ワークシート、小テスト・定期テストなど	行動観察、発表、自己評価、ワークシート、ノート、小テストなど
2 章 物質の表し方	目標		
	原子や分子を化学式で表すことができるようにする。また、化学式・化学反応式によって、物質の組成や化学変化を表すことができるようにする。	原子や分子を表す化学式に興味・関心をもち、化学変化による組み合わせの変化などと関連付けて考える力を身につけること。	原子や分子、化学式に関して進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	評価規準		
	化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、物質の分解や原子・分子についての基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な化学変化の表し方などを身につけている。	物質の成り立ちについて、見通しをもって解決する方法を立案してモデルを使った実習などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	物質の成り立ちに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	評価方法		
	行動観察、発言、発表、ワークシート、小テスト・定期テストなど	発言、発表、ワークシート、小テスト・定期テストなど	行動観察、発表、自己評価、ワークシート、ノート、小テストなど

3 章 さまざまな化学変化	目標		
	2 種類の物質が反応して結びつく実験を行い、反応前とは異なる物質が生成することを見いださせる。また、さまざまな化学変化を原子・分子のモデルや化学反応式を用いて説明できるようにする。さらに、酸化と還元が同時に起きていることや、化学変化に伴う熱の出入りについても認識させ、それらが日常生活にも多く利用されていることに気づかせる。	様々な化学変化に関して興味・関心をもち、日常生活の中でみられる化学変化などと関連付けて考える力を身につけること。	様々な化学変化に関して進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	評価規準		
	化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、2 種類の物質が結びつく化学変化や化学変化における酸化と還元、化学変化と熱についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	化学変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	化学変化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	評価方法		
	行動観察、発言、発表、ワークシート、小テスト・定期テストなど	発言、発表、ワークシート、小テスト・定期テストなど	行動観察、発表、自己評価、ワークシート、ノート、小テストなど
4 章 化学変化と物質の質量	目標		
	化学変化に関係する物質の質量を測定する実験を行い、化学変化の前後では物質の質量の総和が等しいこと、および反応する物質の質量の間には一定の関係があることを見いださせる。	化学変化の際にみられる質量の増減に関して興味・関心をもち、原子の性質や化学変化により発生する物質の性質などと関連付けて考える力を身につけること。	化学変化の際にみられる質量の変化に関して進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	評価規準		
	化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、化学変化と質量の保存、質量変化の規則性についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	化学変化と物質の質量について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の量的な関係を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	化学変化と物質の質量に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	評価方法		
	行動観察、発言、発表、ワークシート、小テスト・定期テストなど	発言、発表、ワークシート、小テスト・定期テストなど	行動観察、発表、自己評価、ワークシート、ノート、小テストなど

物理 1 章 電流の性質	目標		
	回路の基本的な性質や、電圧と電流の関係について規則性を見いださせるとともに、実験機器の操作や実験結果の処理についての技能を習得させる。	回路を流れる電流や加わる電圧に関して興味・関心を持ち、日常利用している電気器具や電気などに関連付けて考える力を身につけること。	回路を流れる電流や加わる電圧に関して進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	評価規準		
	電流に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、回路と電流・電圧、電流・電圧と電気抵抗、電気とそのエネルギーについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	電流に関する現象について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、電流と電圧、電流のはたらきの規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	電流に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	評価方法		
	行動観察、発言、発表、ワークシート、小テスト・定期テストなど	発言、発表、ワークシート、小テスト・定期テストなど	行動観察、発表、自己評価、ワークシート、ノート、小テストなど
2 章 電流の正体	目標		
	日常生活と関連づけながら静電気の性質について調べさせ、静電気と電流には関係があることを見いださせ、真空放電の実験から、電流の正体について理解させる。	電流の正体に関して興味・関心を持ち、静電気と回路などを流れる電流とのかかわりに関して考える力を身につけること。	電流の正体に関して進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	評価規準		
	静電気に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、静電気と電流の関係や電子、放射線についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	静電気や電子に関する現象について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、静電気や陰極線の規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	電流に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	評価方法		
	行動観察、発言、発表、ワークシート、小テスト・定期テストなど	発言、発表、ワークシート、小テスト・定期テストなど	行動観察、発表、自己評価、ワークシート、ノート、小テストなど

3 章 電流と磁界	目標		
	日常生活と関連づけながら，電流の磁気作用や電流と磁界との相互作用を理解させ，直流と交流の違いを捉えさせる。	磁石の性質に関して興味・関心をもち，電流と磁界との相互作用に関して考える力を身につけること。	磁石の性質や電流のまわりに発生する磁界に関して進んで関わり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
	評価規準		
	電流と磁界に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら，電流がつくる磁界，磁界中の電流が受ける力，電磁誘導と発電についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	電流と磁界に関する現象について，見通しをもって解決する方法を立案して観察，実験などを行い，その結果を分析して解釈し，電流と磁界の規則性や関係性を見いだして表現しているなど，科学的に探究している。	電流と磁界に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
	評価方法		
	行動観察，発言，発表，ワークシート，小テスト・定期テストなど	発言，発表，ワークシート，小テスト・定期テストなど	行動観察，発表，自己評価，ワークシート，ノート，小テストなど